

(令和4年6月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	6月は月後半にかけて高気圧に覆われ順調な出荷となる品目が多く、総入荷量及び総取扱金額は前年同月並みであった。 今後は、全国的に異例の早さで梅雨明けとなったことから、高温が続けば生育が弱まり不安定な入荷となることが予想される。 7月は、野菜では、なすやとまと等の果菜類の入荷が増え、枝豆やとうもろこしの入荷が始まる。果実では、すいかや桃等の入荷が増え、巨峰やいちじく等の入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量及び単価は前年同月並みであった。 根菜類の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は4%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で11%上回り、単価は6%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は19%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は3%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で51%上回り、単価は32%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で39%下回り、単価は26%上回った。 桜桃類の入荷量は前年同月比で21%上回り、単価は15%下回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で7%上回ったが、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は9%上回った。 すいか類の入荷量は前年同月比で6%上回ったが、単価は前年同月並みであった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	青森、北海道を中心に千葉、滋賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３％下回った。
西洋にんじん	和歌山、長崎を中心に兵庫、徳島、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は２６％上回った。
【葉菜類】 はくさい	長野を中心に大分、群馬、茨城、山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％上回ったが、単価は加工品としての引き合いが強く３％上回った。
キャベツ	茨城、愛知、京都、長野、大分などから入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回ったが、単価は月下旬から潤沢な入荷となったことから９％下回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城、滋賀、福岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は月上旬に５月の天候不順で出遅れていた分が入荷したことから３％下回った。
レタス	長野を中心に山梨、滋賀、福井、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は５％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎、滋賀、福岡、高知、京都などから入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回り、単価は２８％下回った。
なす	高知を中心に岡山、京都、徳島、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２３％上回り、単価は１６％下回った。

とまと	熊本を中心に北海道、福岡、三重、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％上回ったが、単価は月中旬まで品薄感があったことから４％上回った。
ピーマン	大分、宮崎、茨城、高知、韓国などから入荷した。入荷量は前年同月比で１０％上回り、単価は３０％下回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に熊本、静岡、北海道、京都などからも入荷した。入荷量は前年比で７％上回り、単価は２４％下回った。
たまねぎ	兵庫を中心に北海道、滋賀、中国、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は８８％上回った。
【その他野菜】	
青梅	和歌山を中心に福井、奈良、京都から入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回り、単価は１３％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に和歌山、佐賀、愛知、大分から入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は３％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で３０％下回り、単価は２０％上回った。
桜桃	山形を中心にアメリカ、山梨、北海道から入荷した。入荷量は前年同月比で２１％上回り、単価は１５％下回った。
デラウェア	奈良、大阪を中心に島根、山梨からも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は４％下回った。
アールスメロン	静岡、高知、京都、熊本などから入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は１０％上回った。
大玉すいか	鳥取を中心に熊本、石川、長崎、高知からも入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回ったが、単価は前年同月並みであった。